



卒業式を迎えるみなさんへ

小学部9名、中学部18名、高等部18名の卒業生のみなさん、御卒業おめでとうございます。小学部を卒業するみなさんは、先日の卒業生を送る会で1年生から5年生に見送られ、卒業する実感が沸き、寂しい気持ちになったと聞きました。中学部を卒業するみなさんは、高等部入学選考で、検査や面接という大きな人生経験をしました。小学部、中学部ともに、次のステージに進み、友達と一緒にさらに成長してくれることを期待しています。

高等部のみなさんは、いよいよ長きにわたった学校教育に別れを告げ、これからは社会人として歩いていくこととなります。これまでみなさんは多くのことを学んできました。学ぶというのはいろいろな解釈があると思いますが、教わったり、真似をしたりして、新しく知ったことを忘れず、必要なときにそれを使えるようにすることです。学んだということは、「行動が変わる」ということなのだと思います。いよいよ実際の行動に移す時がきました。インプットする勉強だけでなく、アウトプットすることは、自分らしさを表現できることでもあります。

向日が丘支援学校では、「みんなと同じようにする」ということにあまり価値を置いていません。得意を伸ばす、苦手なことを認める、苦手なことにも折り合いをつける、ということをお大切にしてきました。みんなと同じじゃないということ、それは同時に可能性であると考えています。人と比べる必要はないのです。それは同時に、自分以外の人の視点で考えるという少し難しいチャレンジでもあります。これはとても大切なことです。これができれば、違いが強みになっていくのだと思います。

これからは、ありのままにいられて、当たり前で肯定される社会、一人一人の違いを尊重し合える社会、あなたの実現したい社会の姿を目指して歩み続けてください。自分が生きる人生は、たった一度しかありません。主役はあなたです。私たちもそんな社会の姿を目指して、一緒に頑張っていきます。校舎が変わっても、向日が丘支援学校はいつまでもみなさんの母校です。ずっとずっとずっと、応援しています。

校長 飯田 英美子

生徒会選挙

生徒会本部役員では、1月30日(木)に来年度の向日が丘支援学校を支えていくために生徒会役員の立候補者を募集しました。4名の生徒がそれぞれの思いを持って立候補し、見事4名全員が当選することができました。来年度も新しい役員での様々な活動を楽しみにしています。



体験実習

高等部2年生は12月、1年生は校内実習を経て、1月にそれぞれ体験実習に行きました。

体験実習は、高等部の学習の一環として、地域の事業所や企業の間を借りて、生徒達が、日ごろの学習の成果を試しに行く取組です。

事後の実習報告会では、それぞれの生徒達の頑張りや、成果・課題をしっかりと発表している姿が印象に残っています。引き続き、日ごろの学習で力をつけてくれることを期待します。

今回の実習に御協力いただいた地域の事業所、企業の皆様、ありがとうございました。引き続きよろしくお願いいたします。

